

創立60周年 記念事業がスタート 活動コンセプトは“つなぐ”

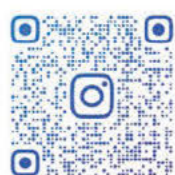
本学は2024年に創立60周年を迎えます。これを記念してシンボルマークを制定し、10月1日より創立60周年記念事業がスタートしました。

活動コンセプトは“つなぐ”です。本学はこれまで、学内外の様々なステークホルダーに支えられながら発展を遂げてきました。本事業は、企画やイベントを通じて学生、卒業生、父母、教職員の愛校心を醸成すると共に、地域社会と積極的につながることで、地域に必要とされる大学として確固たる地位の確立を目指します。

また、60周年を人の選歴になぞらえ、これまで建学の理念の下で積み重ねてきた伝統を重んじながら、生まれ変わりを意識した新たなブランディングを展開します。

**DOKKYO
UNIVERSITY**

**60th
Anniversary
since 1964**



@DOKKYO60TH



専用のInstagramとXを開設しました。フォローをお願いします。

ウーロンゴン大学との 交流会をオンラインで 実施します

11月15日(水) 17:25~18:55に、中央棟10階ホールで「ウーロンゴン大学生との交流会」を実施する。

ウーロンゴン大学(オーストラリア)と獨協大学をZoomで繋ぎ、英語で大学紹介や学生生活について相互に紹介しあうことで国際交流を行う予定です。

本企画は2022年度にウーロンゴン大学への留学を経験した学生が、グローバルフロンティアアンバサダー(学生スタッフ)の活動の一環として企画し、実現した。

予約は予約システムDOORS>ICZ(教育研究支援課)より受け付けている。



60周年つなぐプロジェクト ”READ THE CULTURE”を 開催します

12月21日(木) 15:30~17:10に、本学ドイツ語学科卒業生のサッチャ氏がナビゲーターを務めるJ-WAVE音楽・情報ワイドプログラム「STEP ONE」とのコラボイベントとして、出張講義”READ THE CULTURE”を実施する。番組ナビゲーターのサッチャ氏、ノイハウス萌菜氏をお招きし、語学を学ぶ意義や仕事と出会ったきっかけ、海外ニュースの読み解き方などを講義頂く予定です。予約は予約システムDOORS>総合企画課(60周年イベント)から受け付けます。

日時:2023年12月21日(木)15:30~17:10
会場:W-101 定員:200名(予定)



サッチャ氏

ノイハウス萌菜氏

就職活動 本格スタート講座を開催

10月2日、キャリアセンター主催で就職活動本格スタート講座を開催し、約350名が参加した。ワークや4年生内定者からの応援メッセージを通じて、これから本格的に始まる就職活動の現状やスケジュールについて理解する内容となっており、学生たちは、目標のために明日から何に取り組むかを「私の決意」として書き出して決意表明をしていた。

キャリアセンターでは内定者や卒業生と対面で質問ができるイベントを開催するなど、これまで以上に充実した支援を行っており、今後のイベント情報はPorta II、キャリアセンター公式LINEにて発信予定だ。



大学院進学ガイダンス (研究科別説明会) 参加者募集

- 法学研究科
11月9日(木)12:50~
 - 外国語学研究科
11月8日(水)12:50~
 - 経済学研究科
11月7日(火)12:50~
- ※大学ホームページ「大学院進学ガイダンス開催」案内ページよりお申込みください(要事前予約)。



2024年度入学試験日程

入試種別		
Ⅱ期入試/特別入試		
出願期間	試験日	合格発表
1月9日(火)~1月17日(水)	2月11日(日・祝)	2月15日(木)

問合せ先:大学院事務室事務課
TEL:048-946-1666
E-mail:
daigakuin@stf.dokkyo.ac.jp

第25回全国高校生ドイツ語 スピーチコンテストを開催

10月1日、外国語学部主催「第25回全国高校生ドイツ語スピーチコンテスト」を獨協大学コミュニティスクエアにて開催した。

当日は、応募総数182名のうち、予選を勝ち抜いた19名(第1部朗読部門9名、第2部プレゼンテーション部門5名、第3部フリースピーチ部門5名)と、パフォーマンス動画部門4組が本選の舞台に臨んだ。

審査の結果、第1位の最優秀賞には、〈第1部〉中川結友さん(東京都・都立北園高等学校)が、〈第2部〉藤澤晃正さん(東京都・私立武蔵高等学校)が、〈第3部〉今野歩さん(東京都・私立国際基督教大学高等学校)が、パフォーマンス動画部門からは東京都・都立国際高等学校が選ばれた。



復興知事業 「子ども未来講座」 開催

7月2日、福島県田村市において「子ども未来講座」(主催:獨協大学・田村市教育委員会)が開講した。この講座は、(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構による「大学等の『復興知』を活用した人材育成基盤構築事業」の一環として実施するもの。田村市内の小学5・6年生13人が受講。全6回の講座で、羽山恵英語学科准教授の指導のもと、本学学生・留学生のサポートを受け、英語で田村市を紹介するプレゼンテーションを行う。8月にはフィールドワークをし、9月からはタブレットを活用した資料作成に励んでおり、12月の最終回では成果を発表する予定である。



観光学会で 交流文化学科学生が 最優秀賞を受賞

観光学会の第12回大会(2023年7月8日開催、立教大学新座キャンパス)にて、本学交流文化学科の3年生、毛塚依玲さん、中村遥さん、新島琴乃さん、大口有香さんの4名が「学部学生ポスターセッション」で発表した「ピコツーリズム実践—冷たい世界を熱く観る観光の研究と実践」が、最優秀賞(1位)に選出された。

4名は今回の発表の成果を、所属する山口ゼミのメンバーと共有して、9月からの秋学期のゼミでの研究活動に活かすことで、さらなる研究の深化を目指していく予定だ。



2023年度 「子ども大学そうか」 開催

7月22日、コミュニティスクエアで「子ども大学そうか」の入学式と授業が行われた。

抽選で選ばれた草加市内の小学5,6年生(定員46名)が5回の授業を体験する。入学式で山路朝彦学長は、「子ども大学そうかは、皆さんを新たな世界に案内してくれます。元気に楽しく、先生と一緒に新しい発見をしてくれることを願っています」と挨拶した。講義は高安健一教授による「SDGsを達成するために草加市の小学生ができることを考えよう」が行われた。グループワークを通して多数のアイデアが披露され、自分たちにできることを真剣に考えている様子が伺えた。



交流文化学科 北野収教授、 卒業生田村優さん・ 宮下智衣さん共著書が 「日本NPO学会賞」を受賞

北野収交流文化学科教授・西川芳昭龍谷大学教授編『人新世の開発原論・農学原論』(農林統計出版、2022年)が日本NPO学会賞・選考委員会特別賞を受賞し、去る6月10日の同学会第25回研究大会にて、表彰式が行われた。

同書は、北野教授と西川教授が「人新世(ひとしんせい)」とよばれる現代における人類の在り方を考えた、究極の「持続可能な開発論」といえる。

教え子や研究仲間たちとの協力から生まれた一冊でもあり、本学交流文化学科卒業生で、アフリカ開発の専門家の田村優さんと宮下智衣さんはそれぞれモザンビーク農村の母系社会、タンザニアの有機農業と貧困削減に関する章を執筆した。



オープンカレッジ特別講座 「法と社会を考える —少年法の現在—」

7月29日、東棟1階E-102教室でオープンカレッジ特別講座が開催された。主に社会人を対象とした生涯学習講座「オープンカレッジ」の無料講演会で、事前の申し込みにより92名が来場し、併用したオンライン配信では51名が受講した。

講師は安部哲夫名誉教授。講座では、大正、昭和、平成の少年法の特徴を時代背景や少年法改正の動きを取り上げながら説明され、改正されてきた少年法の問題点について考察した。

受講者のアンケートでは、講座内容に満足したという感想が多数寄せられ、改めて少年法について考え直す機会となった様子が伺えた。

